

## さとうきびの島で、カボチャ輪作のふるさとづくり (平成20年度認定)



沖縄本島の東方洋上約400km、絶海の孤島にある北大東村は、さとうきびを基幹作物とした農村地帯で、さとうきびの更新畑を有効に活用した複合経営にも取り組んでいる。

農業農村整備事業により、ほ場整備・水源整備が進み、基幹作物であるさとうきびの生産向上とともに、地力向上にむすびつく輪作によって、カボチャ生産にも効果をあげ品質向上が図られた。これは、地域さとうきび振興協議会を含めた各種地域協議会や地域関係者の熱意であり、講習会、現地検討会など日々技術研鑽に励むカボチャ生産部会の努力の賜物である。

また、学校給食への食材提供、小学生の農業体験の受け入れなど食育にも力を入れ、農業の基盤が整備されてきている生産環境の中、地域密着の「さとうきびの島で、カボチャ輪作のふるさとづくり」を進めている。

